

Noism1 + Noism0

森優貴 / 金森穰

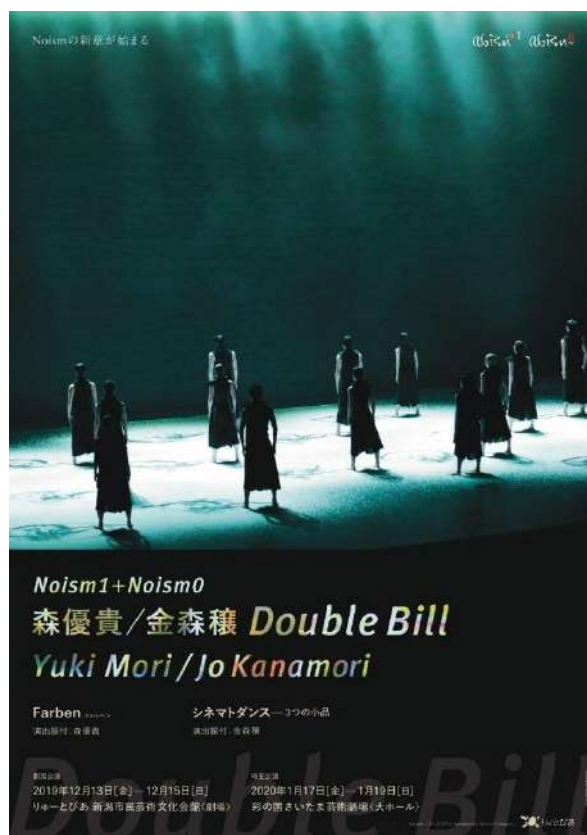
Double Bill

『Farben』 『シネマトダンス—3つの小品』

Noism1 + Noism0

Yuki Mori / Jo Kanamori Double Bill :

Farben / CINEMATODANCE - Three Short Pieces



ドイツで舞踊団を率いた森優貴による帰国後初新作と、
金森穰による新作の二本立て（ダブルビル）！
Noism の新章がここから始まる。

新潟公演 | 2019.12.13（金）～12.15（日）りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

埼玉公演 | 2020.1.17（金）～1.19（日）彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉

公演に関するお問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 舞踊企画課

Noism 広報担当：堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel: 025-224-7000 (平日 10:00～18:00/休館日除く) Fax: 025-224-5626 Mail: info-noism@ryutopia.or.jp

オフィシャルウェブサイト www.noism.jp Noism NoismPR noism_official

公演について

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団である Noism（ノイズム）は、日本初の公共劇場専属舞踊団として 2004 年に新潟市で誕生しました。設立以来、国内はもちろん世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動しています。りゅーとぴあで創った作品をこれまで国内外 40 都市以上で上演、新潟から世界に向けて活動を展開してきました。

この度、これまで 15 年間の活動についての新潟市による検証を経て、第 6 期活動更新が決定し、2022 年 8 月末まで、りゅーとぴあを拠点に更なる活動を展開していくこととなりました。

設立 16 年目を迎えた今シーズンは、ゲスト振付家に森優貴を迎え、芸術監督・金森穰の新作との二本立て（ダブルビル）公演を開催します。森優貴はドイツ・レーゲンスブルク歌劇場ダンスカンパニーで昨シーズンまで芸術監督として活躍していました。欧州の劇場で日本人として初めて芸術監督となった森が、帰国後第 1 作目となる新作『Farben（ファルベン）』を Noism の舞踊家たちと共に創作します。Noism1 としては、8 年ぶりにカンパニー外部の振付家をゲストに迎えます。



レーゲンスブルク歌劇場ダンスカンパニー『死と乙女』
森優貴 演出振付
©Jochen Klenk

Noism 芸術監督の金森穰は、3 つの作品からなる『シネマトダンスー3 つの小品』を創作します。Noism1 による『クロノスカイロス 1』、Noism0 による『夏の名残のバラ』、『Fratres II（フラトレスツー）』の計 3 作品です。『Fratres II』は、今年 6 月に設立 15 周年記念作品として上演した『Fratres I（フラトレスワン）』に続く作品です。「Fratres」とは、ラテン語で親族・兄弟・同士を意味します。「舞踊団」という集団で芸術活動を行うことの意味を改めて問い直すべく創作した『Fratres I』では、金森を含む、国籍も性別も体格も異なる 15 名の舞踊家による群舞が、祈りの儀式を彷彿とさせる作品として強い印象を残しました。今回創作する『Fratres II』は、同じ意味のタイトルを冠しながらも、金森による独舞として上演します。



Noism 設立 15 周年記念作品『Fratres I』
金森穰 演出振付
©Kishin Shinoyama

様々な国籍の舞踊家たちが所属する Noism1 と、経験を積んだ舞踊家達による Noism0 が挑む新作。16 年目を迎え、新たなスタート地点に立った Noism の新章がここから始まります。

演出ノート：

Farben (ファルベン)

演出振付：森優貴

衣裳：堂本教子

出演：Noism1、Noism0（井関佐和子）

もしも、突然「色彩」が消えてしまったら、あなたは何を感じますか？

大きな不安に駆られるのか、それとも一種の解放を感じるのか…？

心は何を感じ、何を感なくなるのか？

内観的で主観的な感覚質。視覚、聴覚、嗅覚、触覚など多彩な種類の感覚が「色」を読み取り、「色彩」から想像される無限のコスモスへと広がっていくこと。それは、心理的描写、意識的な思考、感情として、どこまでが物理的説明が可能であり、どこからが言語化できない内面的感覚なのか？

私たちは日常空間で多様な情報に巻き込まれ、エンドレスに取り込む中で、何を選択し、何を管理しているのか？動かされ流される集合体の社会で自分の内側に溢れ、命を持ち、そして死んでいく多彩な感情、イメージ、メタファー、感覚質。

非日常の世界に自らを閉じ込め、非日常体験に身を委ね解放することで命を吹き返す「色」、輝き始める内観的世界の「色彩」。

閉じ込められた部屋と流れ行く時間、過ぎ去って行く儚さの中に多彩な色と感覚質、感情が共に交差し続ける世界。

目を閉じ、息を潜め、瞼の奥で、心の底で…

“あなたは何を感じますか？”

“どんな世界が見えますか？”

“そこには色が見えますか？ 感じられますか？”



Photo: Miyuki Kurosu

演出振付

森 優貴 Yuki Mori

演出家・振付家・ダンサー。ハンブルク・バレエ・スクールへ留学後、98-01年ニュルンベルグバレエ団、01-12年トス・タンツカンパニーに在籍、芸術監督であったシュテファン・トスの数多くの新作で主役を務める他、キリアン、フォーサイス、エックら著名振付家による作品を踊る。05年ハノーファー国際振付コンクールにて観客賞と批評家賞を同時受賞。12年9月ドイツ・レーゲンスブルグ歌劇場ダンスカンパニーの芸術監督に就任。日本人初の欧州での芸術監督となる。就任後、次々に新作を発表。ジャンルを超えた作品を手がけ、ドイツ国内外の芸術機関・メディアから「今最も注目すべきダンスカンパニー」として評価を得る。19年8月から日本を拠点としてヨーロッパ以外でも活動を開始。平成19年度文化庁芸術祭新人賞、平成24年度兵庫県芸術奨励賞、平成29年度神戸市文化奨励賞など受賞歴多数。

演出ノート：

シネマトダンスー3つの小品 *シネマトダンス＝映像と舞踊を意味する造語

演出振付：金森穰

衣裳：堂本教子

映像：遠藤龍

1：クロノスカイロス 1

出演：Noism1

2：夏の名残のバラ

出演：Noism0（井関佐和子、山田勇気）

3：Fratres II

出演：Noism0（金森穰）

映像表現と舞踊表現はその本質において非常に異なる。それは表現に際する空間と時間との関わり方の違いである。

空間も時間も自由に飛び越える映像に対し、舞踊（身体）は常に空間と時間に縛られている、というかその縛りこそが身体の本質、すなわち舞踊の本質であると言える。映像は記録と不可分であり、舞踊は記憶と密接である。

ではなぜ映像と舞踊を掛け合わせるか。それはそうすることで、上記した舞踊の本質をより顕在化することができると思うからである。映像の力を借りるのではない。映像の力と拮抗することで、今、此处でしかない、刹那なる身体存在を、再現不能な一回性の燃焼を、観客の心（記憶）に刻むのだ。

あらゆる物事が数値化され、定量化され、記録される現代において、数値化できず、定量化し得ず、記録することも叶わぬエネルギーを燃焼させること。そのことの価値を、感動によって鑑賞者に直覚せしめること。それが舞踊の命題であり、本小品集の主題である。



Photo:Kishin Shinoyama

演出振付・出演

金森 穰 Jo Kanamori

演出振付家、舞踊家。りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督／Noism 芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。ルードラ在学中から創作を始め、NDT2 在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍したのち帰国。2004年4月、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。京都芸術センター運営委員。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞、第60回（2018年度）毎日芸術賞ほか受賞歴多数。

www.jokanamori.com Twitter／@jokanamori

Noism Company Niigata

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団。芸術監督は金森穰。プロフェッショナル選抜メンバーによる Noism0（ノイズムゼロ）、プロフェッショナルカンパニーNoism1（ノイズムワン）、研修生カンパニーNoism2（ノイズムツー）の3つの集団があり、2004年の設立以来、国内・世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動している。Noism1 はりゅーとぴあで創った作品を国内外で上演し、新潟から世界に向けてグローバルに活動。Noism2 はプロをめざす若手舞踊家が所属し、劇場での公演の他に、新潟市内で開催されるイベントや学校への出前公演等、地域に根ざした活動を続けている。Noism0 は、舞踊に限らず、年齢と経験を積み重ねた芸術家だからこそ生み出せる表現を、新潟から世界に向けて発信していく。

Noism の由来は、「no-ism = 無主義」。特定の主義を持たず、歴史上蓄積されてきた様々な身体知を用いて、あらゆるismを再検証することで、今この時代に有用な新しい形に置き換え、現代人としての身体表現を後世に伝えていこうとしている。

Noism0



金森穰 Noism 芸術監督
井関佐和子 Noism 副芸術監督
山田勇氣 Noism2 リハーサル監督

Noism1



池ヶ谷奏 ジョフォア・ポブラヴスキー 井本星那 林田海里 チャーリー・リャン カイトミオカ



スティーヴン・クイルダン タイロン・ロビンソン 鳥羽絢美 西澤真耶 三好綾音 (準メンバー)

Photo : Kishin Shinoyama(Kanamori) 、Noriki Matsuzaki

Noism1 + Noism0

森優貴／金森穰 Double Bill

『Farben』 『シネマトダンスー3つの小品』

Noism1 + Noism0

Yuki Mori / Jo Kanamori Double Bill : *Farben / CINEMATODANCE - Three Short Pieces*

新潟公演 Niigata



2019年12月13日(金) 19:00、14日(土) 17:00、15日(日) 15:00 *全3回

会場：りゅとぴあ 新潟市民芸術文化会館(劇場) 新潟市中央区一番堀通町 3-2

入場料：S席 4,000円 A席 3,000円 / U25 S席 3,200円 A席 2,400円 (税込・全席指定)

*U25=25歳以下対象・入場時身分証明書。

取扱：▶りゅとぴあ(窓口・電話・オンライン)

チケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11:00-19:00、休館日除く)

オンライン・チケット <https://piagettii.e-get.jp/ryutopia/pt/>▶イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB 共通)

チケット発売日：りゅとぴあ会員先行 10月10日(木) / 一般 10月13日(日)

埼玉公演 Saitama



2020年1月17日(金) 19:00、18日(土) 17:00、19日(日) 15:00 *全3回

会場：彩の国さいたま芸術劇場(大ホール) さいたま市中央区上峰 3-15-1

入場料：5,500円、U25 3,500円 (全席指定)

*U25=25歳以下対象・入場時身分証明書。

取扱：▶りゅとぴあ(窓口・電話・オンライン)

チケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11:00-19:00、休館日除く)

オンライン・チケット <https://piagettii.e-get.jp/ryutopia/pt/>▶イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB 共通)

▶彩の国さいたま芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンライン) *埼玉公演のみ

電話 0570-064-939 (10:00-19:00、休館日除く)

<http://www.ticket.ne.jp/saf/>

▶埼玉会館(窓口のみ、10:00-19:00、休館日除く) *埼玉公演のみ

チケット発売日：SAFメンバーズ先行 10月12日(土) / 一般 10月13日(日)

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(埼玉公演)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

製作：りゅとぴあ 新潟市民芸術文化会館



公演に関するお問い合わせ

りゅとぴあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 舞踊企画課 Noism 広報担当：堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel: 025-224-7000 (平日 10:00~18:00/休館日除く) Fax: 025-224-5626 Mail: info-noism@ryutopia.or.jpNoism オフィシャルウェブサイト www.noism.jp

Noism



NoismPR



noism_official

